

推薦調書（実装部門）（注1）

表彰区分	市	推薦都道府県	佐賀県
地方公共団体名	佐賀県 多久市		
取組名称	ドローンを活用した地域課題解決実証事業		
連携自治体、企業、団体等	株式会社トルビズオン、多久市まちづくり協議会かつやく隊		
デジタルを活用した取組の概要（デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）（注2）	①	（左記が①の場合の分野） 物流
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <p>○多久市の「空」という資産に新事業開拓の活路を見出し、ドローンを活用して、地域の課題解決や事業創造を実現することを目的として実施している。</p> <p>具体的には、それぞれの地域の課題を解決するための「空の道（ドローン定期航路）」を考え、そのルートでのドローンの飛行を可能にするため、株式会社トルビズオンが開発したプラットフォームを活用することで、土地の所有者や占有者から上空の飛行合意を取り、日用品や医薬品等の物流配送実験を行ってきた。現在は、様々な用途の12本の空の道があり、多久市まちづくり協議会かつやく隊のメンバーが配送事業を実施してきた。</p> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>○平成28年11月シェアリングシティ宣言を行い、シェアリングエコノミー（共有経済）を活用し、在宅ワークの育成や体験型観光などのシェアリングビジネスを実施することで、地域課題の解決に取り組んできた。</p> <p>○令和2年、上空シェアリングを行う株式会社トルビズオンの存在を知り、多久市のまちづくりにつながる事業として、まちづくり協議会で検討し、ドローン物流実験に取り組むことになった。</p> <p>○令和2年7月、株式会社トルビズオンと多久市は、地域課題の解決に取り組むため、地方創生連携協定を締結した。</p> <p>【解決する課題の具体的内容】</p> <p>○多久市まちづくり協議会かつやく隊では、ドローンの活用で地域の課題につながるものを協議し、12本の「空の道」を開通させた。</p> <p>○多久市の特徴として、山間地域が多く、高低差のある地形である。高齢化も進み、今後は、運転免許返納などで、車での移動が困難になる住民が増えることが予想される。また、近年では災害も増え、山間部の道路の寸断や土砂災害など現地確認が増えていくと考えられる。</p>		

<p>デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）</p>	<p>○空の道 12本 （キャンプ場の道、日用品配送の道、薬の道、フードデリバリーの道、新聞配達の道、そばの道、イチゴの道、防災の道、観光の道、NEXCO西日本パーキングエリアへの道、みかんの道、まんじゅうの道（LTE・自動操縦））</p> <p>○メディア ガイアの夜明け取材（②日用品配送③薬）2021年1月 がちりマンデー取材（⑥新聞配達）2021年5月 毎日フォーラム2021年8月号 財界九州2022年4月号P102 佐賀新聞 内閣官房シェア・ニッポン100 国土交通省「空のまちづくり」で始める社会変化の事例</p> <p>○修学旅行受け入れ（JTB 学びのプラン採用「ドローンをつかったまちづくり」） 2021年12月（佐賀県基山町高校1年生、大分県大分中学3年）</p> <p>○企業誘致実現3社 株式会社トルビズオン、株式会社DPCA、株式会社イノベーションパートナーズ</p>
<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>これまでの実証事業は、自治体主導ではなく、多久市の中心市街地活性化や地域課題解決策等を協議する「多久市まちづくり協議会かつやく隊」が中心となり、ドローン・自動操縦・無線技術など先進技術を学び、実施をしてきた。まちづくり協議会かつやく隊のメンバーが、ルートの選定を行い、空の道を策定し、配送オペレーション等もまちづくりのメンバーが行った。</p> <p>また、多久市は大手旅行会社や観光協会等と連携することで「まちづくりとドローン物流、起業家精神」を学ぶこれらの取り組みを知った旅行会社が、まちづくりとドローン物流から起業家精神を学ぶ修学旅行プランを企画、広告し、実際に2校の教育機関が多久市に訪れ、観光分野にも効果が広がっている。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>地域課題の解決に向けたこれらの取り組みを加速させていくため、ドローン物流ルートと地域の課題ヒアリングを合わせて行い、市民が共同して事業を行い、地域住民への理解を深めていく。</p> <p>地域の課題解決に向けて、まちづくりのメンバーが考案し、実働していくこの「空の道」によって、多久市をすみやすい街にするとともに、ドローンを活用した事業を地域の「なりわい」につなげ、関連企業の誘致や視察、ドローンスクール開校など、今後は関係人口の増加、雇用の確保等、地域経済効果へと繋げる。それが地域の新しい価値を掘り起こし、住民が誇りを持って多久市に住み続けることを選択するよう、官民一体となってさらに取り組みを進めていく。</p>

多久市による「空のまちづくり」 - ドローン田園都市構想

